

Singlehood,
Living Alone
and
Work-Life
Conflict
in Japan

日本における独身 ひとり暮らし ワーク・ライフ・ コンフリクト

2/21

日本において独身化の傾向が顕著である。

その要因のひとつは生涯未婚率と非婚者数の上昇

である。この婚姻動向の変化には、家族やパートナーの

いないひとり暮らし高齢者の増加も関係しており、政策立案者や

研究者からは、重大な懸念の声が上がっている。国立社会保障・人口問題研究所

の2016年の調査報告書によると、2035年には国内人口の半分以上が独身者になるという。

本シンポジウムでは、国際的に活躍する、社会学・社会人類学・日本学の研究者を招き、日本における急速な

単身世帯増加の原因とその影響について議論する。女性の高学歴化と経済的自立が、未婚化・非婚化の原因になっているという指摘もある。

しかしながら、非婚や家庭を持たないことを選択と、社会的価値観や就労形態、企業文化との関係についての詳細な実証分析はまだ十分ではない。

コーディネーター Coordinator

アネット・シャート=ザイフェルト (ジェンダー研究所特別招聘教授/ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ現代日本研究科教授)
Annette Schad-Seifert (Specially Appointed Professor, IGS / Professor, Japanese Studies, Heinrich Heine University Düsseldorf)

研究報告 Research Reports

ローラ・デイルズ (西オーストラリア大学アジア学助教授) Laura Dales (Lecturer, Asian Studies, The University of Western Australia)
独身女性とその世帯 *Single Women and Their Households*

何水霖 (国立シンガポール大学社会学部助教授) Swee-Lin Ho (Assistant Professor, Sociology Department, National University of Singapore)
ジェンダー化された雇用不安：日本の女性管理職のアンビバレントで葛藤のある生活
Gendered Precarity: The Ambivalent and Conflicted Lives of Women Managers in Japan

コメンテーター Commentators

スコット・ノース (大阪大学社会学教授) Scott North (Professor of Sociology, Osaka University)

ノラ・コットマン (ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ現代日本研究科講師)
Nora Kottmann (Lecturer, Japanese Studies, Heinrich Heine University Düsseldorf)

日時：2018年2月21日(水) 13:00~16:00

会場：お茶の水女子大学共通講義棟2号館102

Date: Wednesday 21 February, 2018 13:00-16:00

Venue: Room 102, Inter-Faculty Building 2, Ochanomizu University

日英同時通訳あり

Simultaneous interpretation
available (English-Japanese)

要事前申込 (入場無料) :
申込フォーム

Prior registration required
(Admission Free) 

